## (1) 多様な主体の協働による事業の推進

## ① 官民連携携推進会議の設置

・目指す街並みの具体化に向け、地元商店街振興組合、町内会、 沿道利用事業者・団体、警察、有識者、庁内関係部署などで構成 する検討組織を立ち上げ協議を進めます。

## ② 基本計画の策定

・官民連携推進会議での検討、社会実験等の実施・検証、シンポジウムの開催などを通じ、多様な市民の意見を幅広く伺い、理解を得ながら、基本計画を策定します。

# ③ 社会実験(歩道・車道活用)、店舗実験の実施・検証

・基本計画策定に資するよう、社会実験を繰り返し実施し、課題の 把握と検証、課題解決に向けた関係者・関係機関との協議を行います。

# 《官民連携推進会議》 《地元関係者》 長町商店街連合会 長町地区町内会連合会 まちづくり活動団体 沿道利用事業者・団体 地元企業 など

# ④ 適用可能な国などの支援事業・制度の活用

・整備・活用の推進、財源の確保、管理運営団体の支援などのため、適用可能な国等の支援事業・制度の活用を検討します。

## ⑤ 地域主体の街並みづくりの促進

・地元商店街振興組合、町内会等、地域が主体となった、本将来像(ビジョン)の具体化に向けた検討や活動を支援します。

# ⑥ 多様な主体との緩やかな連携

・本将来像(ビジョン)に賛同する多様な人々が、街並みにおける日常的な賑わいづくりや維持管理に向けて、それぞれのアイデアのもと主体的に活動し、交流し、ゆるやかにつながることで、化学変化を起こしながら、本将来像(ビジョン)の具体化を進めていく仕組みづくりを検討します。

# (2)ロードマップ

令和 5 年度	令和 6~8 年度	令和9年度以降
ステップ1(構想段階)	ステップ2(事業化段階)	ステップ3(運用段階)
・沿道活性化に向けた基礎調査 ・試行実験(既存歩行者空間活用) ・地元ワークショップ ・将来像(ビジョン)策定	・官民連携推進会議設置 ・基本計画策定 ・社会実験(歩道・車道活用) ・店舗実験(空き店舗活用・仮設店舗設置等・各種協議(警察、事業者等)	・段階的な整備の実施 ・民間主導による運営体制へ移行 等)

## (3)本将来像(ビジョン)の具体化に向けて

道路空間の整備はもとより、沿道の賑わいを創出する様々な主体の活動を生み出す仕組みづくり、街路の持続的な管理運営体制の構築などについて、行政のみならず、市民、事業者、関係機関、有識者など、長町の街並みづくりに関わる多様な主体の参画のもと、本将来像(ビジョン)を共有し、その具体化に向けて協議し検討を重ねながら、協働で取組みを進めていくことが重要です。

また、街並みづくりにおいては、実行可能なものから取り組んでいくとともに、街並みを巡る状況の変化等に応じて柔軟に対応していく必要があります。

その点から、本将来像(ビジョン)の検討項目については、現段階で固定化や実施の決定をするものではなく、今後も協議や 取組みの進捗状況、街並みを巡る状況の変化等により、必要に応じて適宜改善や修正を加えながら具体化し、基本計画へと 反映させていきます。

# 長町における賑わいと交流の街並み形成促進事業

# 長町・歩いて楽しい街並みの将来像(ビジョン) (案) -仙台市-

# 1. 街並みの将来像(ビジョン)に関する基本的な考え方

# (1) 策定の背景

- ・長町地区は、「仙台市基本計画」及び「仙台市都市計画マスタープラン」のもと、仙台都市圏南部の「広域拠点」として位置づけられています。長町商店街エリア(JR長町駅西側の旧国道4号沿道周辺)、あすと長町エリア(JR長町駅東側)、長町南エリア (太白区役所周辺)の3つのエリアがそれぞれの特性を生かし連携することにより、都市機能の集積を進めることとしています。中でも長町商店街エリアにおいては、「商業機能と文化機能が連携した賑わいのある、歩いて楽しい歩行者空間や街並みの形成」を図ることとしています。
- ・あすと長町エリアや長町南エリアでは、高層マンション等集合住宅の建設が進み、子育て世代を含め、人口が増加するとともに、大型商業施設やイベント広場、大型集客施設を中心に人が集まり、賑わいを生み出しています。その一方で、長町商店街エリアでは、これまでも商店街を中心に様々な地域活性化の取組みが行われてきましたが、日常的に人を惹きつけ、近隣の2つのエリアの賑わいを十分に取り込むまでには至っていません。また、メインストリートである旧国道4号の沿道では、近年、事業主の高齢化や事業承継の困難さにより、空き店舗や空き地の発生、駐車場への転用等が散見される状況にあります。
- ・今後とも長町地区が、本市南部の広域拠点として持続的に発展していくためには、長町商店街エリアの更なる活性化が重要な 鍵となります。

# (2) 策定の目的

- ・近年、全国の主要都市などにおいて、都市の魅力を高め活力を創出することを目指して、従来の車道や歩道を、多くの人々が 集い、憩いの時間が過ごせる、また自ら多様な活動を繰り広げられる共有の場として活用できるようにする、人中心の「歩いて楽 しい街並み」づくりが進められています。本市においても、現在、定禅寺通、青葉通、宮城野通で、官民連携により取組みが進め られています。
- ・長町商店街エリアにおいて、更なるエリアの魅力向上、回遊性や滞在性の向上、賑わい創出を図るため、旧国道4号沿道における人中心の歩いて楽しい街並みづくりに地域とともに取り組んでいくにあたり、目指すまちの姿や通りの姿、将来の街並みのイメージ、それらを実現していく上で検討すべき事項等を将来像(ビジョン)としてまとめ、商店街や町内会など地域の方々、関係者や関係機関等と共有を図り、官民連携による街並みづくりに取り組むための指針とします。

#### (3) 対象エリア

本将来像(ビジョン)は、旧国道4号沿道を中心とした長町商店街エリア(右図 赤色部分)を対象とします。



# 2. 旧国道 4号沿道(長町商店街エリア)における街並みの将来像

(1)目指す姿

目指す まちの姿

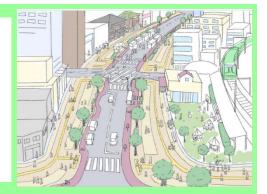
# 新しくて懐かしい 心躍る触れ合いのまち ナガマチ

目指す 通りの姿

# 歩いて楽しい、賑わいと交流が生まれる人中心の街並み

歴史ある「商(あきな)い」のまち・長町 まちの個性と新しい魅力や活動が、 歩きやすく快適な人中心の通りでつながり、

訪れる人にも住んでいる人にも魅力的な賑わいと交流の「あきない」まちへと、 皆のチカラで進化します。



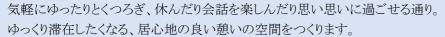
# (2) 将来の街並みのイメージ



# 安心で歩きやすい街並み

大人にも子どもにも、昼夜を問わず安全安心な通り。 思わず歩き出したくなる、人中心の誰にでも優しく快適な空間をつくります。

# 心地良い時間(とき)を過ごせる街並み







# <u>賑わいがあり心躍る街並み</u>

一人でも楽しい、誰かと一緒ならもっと楽しい、いつも魅力と発見がある通り。 いつ訪れてもワクワクしながら街歩きが楽しめる、活気のある空間をつくります。

# 個性的な触れ合いのある街並み

古くからの歴史と新しい文化・人が融和する、長町らしさを感じられる通り。 様々な人の関わり合いを通して、親しみと情緒を感じられる交流の空間をつくります。





# 皆で一緒に魅力を育てる街並み

住んで良し訪れて良し、魅力的なメインストリートとして皆でつくる通り。

いつまでも愛され受け継がれる、様々な人が関わり魅力を高める協働の空間をつくります。

# (3) 実現に向けた視点

将来の街並みのイメージを踏まえ、次の項目について検討を行います。

## 道路空間の整備

- ・歩道拡幅のための車線減少など、安全安心で歩きやすい歩道空間創出の検討を進める。
- ・自転車専用レーンや交差点の改良など、歩行者・自転車・自動車の動線分離の検討を進める。
- ・誰もが安心して通行できるよう、歩道空間のバリアフリー化の検討を進める。

# 滞在性の向上

- ・くつろぎの空間創出に向け、歩道へのベンチやテーブル、植栽の設置等について検討を進める。
- ・パークレットの手法を活用した一部歩道のテラス化など、滞在空間創出について検討を進める。
- ・長町駅西口広場の一部芝生化など、既存施設の滞在性向上について検討を進める。

## 賑わいの演出

- ・イベント時の歩行者天国化など、道路空間活用の検討を進める。
- ・出店希望者に対する地元開業に繋げる支援の仕組みづくりについて検討を進める。
- ・歩道空間やパークレット、空き店舗・空き地において、仮設店舗の設置やキッチンカーの活用などによる賑わいの創出について検討を進める。
- ・シェアリングモビリティの活用など回遊性向上について検討を進める。
- ・サインの設置やマップの活用など、街歩きを楽しめる仕組みづくりの検討を進める。
- ・長町駅西口広場などの公共空間でのイベント活用などについて検討を進める。
- ・アートや音楽を取り入れるなど、多様な賑わい演出について検討を進める。

## 個性に富む交流空間の創出

- ・横丁、神社仏閣、まつり等の既存資源の活用や、シンボルとなるような名物や長町らしさの創出について検討を進める。
- ・街の人々と触れ合える案内所の設置や、顔が見える会話を楽しめるお店の取組みなどについて検討を進める。

#### 持続的な活動

- ・来訪者、街並みのファン、ボランティア等の増加に資する戦略的広報の検討を進める。
- ・まちづくり活動者の集いの場の活用等により、沿道で活動する様々な主体のネットワーク化について検討を進める。
- ・エリアマネジメントなど民間主導による管理運営体制の構築等について検討を進める。
- ・通りの通称やロゴなどの公募、恒例イベントの実施など、街並みのブランド化の取組みの検討を進める。

併せて下記の課題について解決を図ります。課題解決にあたっては、道路活用に係る社会実験やその検証を繰り返し行いながら、沿道の店舗主・地権者・住民、道路管理者、交通事業者などと協議を行い、理解と協力を得られるよう進めていきます。

・道路空間の整備に関する課題

交通渋滞の発生と解消/バス停・タクシー乗降所や運送車両荷捌きスペースの確保/緊急車両の円滑な運行、等

・魅力ある沿道の活用に関する課題

店舗誘致や新規参入支援等の仕組みづくり/賑わいを演出する活動を行う多様なプレーヤーの参加・連携、等

・官民連携による推進体制の確立、民間主導による街並みの維持管理等に関する課題 エリアマネジメント等による民間主導の体制の確立と運営

※掲載のイラストはイメージを表現したもので、特定の街並みや人物を描いたものではありません。